

時代の予兆と健康長寿経営

第1部

10:05~

新産業革命の中で 360°の可能性を探る

講師：佐野睦典氏 イノベーション・エンジン株式会社 代表取締役

全ての主要国が政権安定期に入ってきました。そこで、世の中は政治よりも経済活動に関心が高まってきています。いよいよ、モノと情報が融合する新たな産業革命が始まりました。そこでは、AI や IOT、ロボット、AR/VR などがリード役になってきます。特に日本では、長寿世界 No.1 の国として、それらを活用した新産業が相次いで誕生してくると思われれます。経営者としては、自らの立脚点を大事にすると共に、今後の展開については、360°の可能性を追求するスタンスと行動力が求められます。私の 40 年余りのキャリアの中でも、最もエキサイティングな時期が訪れようとしています。2018 年を意義のある一年にしたいと思います。



第2部

13:00~

「最期まで、その人らしく生きる」ことを支えるために

～祖母・小倉遊亀(画家)との在宅介護 8年の日々から私に遺されたもの～

講師：森 寛子氏

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 研究員・博士(社会健康医学)

明治、大正、昭和そして平成を生き抜いた小倉遊亀は、41 歳まで教員生活を続けた仕事を持つ女性の先駆者であり、105 歳の逝去まで絵筆をとることを自身の至福とした芸術家であった。97 歳からの在宅介護を担った 30 代の私にとって、介護を受ける祖母の姿から学んだことは多い。一度は絵を描かなくなった祖母が、再び絵筆をとれるまでの日々は、「祖母らしい日々とは何か」と常に考えながら、身の世話を明け暮れた日々であった。不都合なことが多い老境の日々であっても、一日一日を楽しみ、小さな美しさに感動する生き生きとした心と呼び覚してほしい、そんな願いを持ち続けた。逝去して 17 年、今なお彼女が私に遺した多くのメッセージは 21 世紀を生きる私に、折に触れ形を変えつつ、大きな生きる指針となっている。

※なお、主治医であった日野原重明先生(聖路加病院医院長)や 祖母と知己のあった鈴木大拙師(禅の世界的大家)など、祖母の人縁の中で得たものなどのお話も生きるヒントに。



第3部

14:45~

経営者の心の幹を育てる人間学

～ 笑顔と感謝が健康長寿経営力の秘訣である ～

講師：斉子典夫 JRC株式会社 代表取締役

40 年近く不動産業界の教育に携わってきて確かに言えることは、少なくとも現状維持、あるいは成長し続けている企業の、ほぼ全てが人材教育に力を注いでいるという事実である。しかし、それは営業のスキルやテクニックを指導するだけでは不十分である。重要なのは、その根本となる考え方(観)の核心である<心の幹>を育てることである。



★日 時：2018年3月2日(金) 10:00~17:00 (開場 9:30~)

★会 場：アルカディア市ヶ谷 (私学会館)「7F 琴平」

★住 所：東京都千代田区九段北 4-2-25 TEL03-3261-9921

★会 費：1名 47,000 円(税込)※1社2名以上のお申込みの場合はお一人 46,000 円

講師プロフィール

佐野 睦典 (さの・むつり) イノベーション・エンジン株式会社 代表取締役

京都大学法学部卒。Harvard Business School PMD修了。1974年野村證券に入社後、野村総合研究所に移りベンチャー企業の上場支援業務をリードした。その後、ジャフコにて日本初の先端技術ファンドの責任者として運営した。2001年にイノベーション・エンジン(株)を設立し代表取締役に就任。ナノテクファンドを設立。主に、先端技術ベンチャー企業への投資・育成を行う。それらの企業が世界規模で活躍するための支援を積極的に展開中。国際的視点に立ったグローバルなビジネス哲学は、いかなる混迷の時代にあっても揺るぎない。

森 寛子 (もり・ひろこ) 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所

研究員・博士(社会健康医学)

1984年暮しの手帖社へ入社。1992年小倉遊亀(ゆき)の絵画著作権管理法人「鉄樹(てつじゅ)」の役員に就任と共に、在宅介護の日々が始まる。2000年夏、105歳の小倉遊亀逝去まで介護の日々は8年に及ぶ。介護保険の導入前だったこともあり、よりよい介護を模索し、工夫を重ねる日々であった。一度、絵筆を折った祖母が101歳を過ぎて再び製作活動を始めた背景には、画伯本人の精神力はもちろんであるが、規則正しい暮らしに基づいた体調管理と、生き生きとした精神活動がその土台にあった。介護の最初の日から記帳された介護日誌は、逝去の日まで90冊にのぼる。その介護日誌をもとに、「小倉遊亀・天地の恵を生きる～104歳の介護日誌」(文化出版局)が上梓される。祖母の死後、鉄樹を離れ、京都大学大学院医学研究科に進学する。集団としての健康を考える疫学を学び、2012年博士(社会健康医学)を修得した。

斉子 典夫 (さいす・のりお) JRC株式会社 代表取締役

中央大学法学部法律学科卒業。1987年JRC株式会社を設立。2017年でJRCは創立30周年を迎えた。大手から中小にわたる各企業の総合コンサルティングおよび研修の機関として今日に至る。現在までにJRCの受講生は8万名を超える。現在 業界初の「営業マン・クリニック」が大変な反響と成果を生み、これまでに受講者は1100名にのぼる。このマンツーマン型カウンセリング研修で受講者の約85.3%が業績UPするという成果を上げ続けている。信条は「能力とはCanではなくDoである」。現在、『一日一語』(メール配信無料サービス)を大好評配信中。まもなく配信2000回目を迎える。Facebookページでも配信中。

2018年JRC『新年度トップ経営セミナー』

受講料：1名 47,000円(税込み) ※1社2名以上のお申込の場合はお一人¥46,000

振込先：三菱東京UFJ銀行 新宿新都心支店(普) 5319151 JRC株式会社

(お申込後1週間以内にお振込をお願い致します。尚、振込手数料は貴社負担とさせていただきます)

JRC株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-14-17-905

TEL03-3369-5751 FAX03-3369-6139 <http://www.jrc-e.com>

FAXまたはメールでお申込ください。

FAX: 03-3369-6139

E-mail: pro@jrc-e.com

「2018 JRC新年度トップ経営セミナー 3月2日(金)開催」申込書

会社名		代表者名 (役職)			
住所 〒					
TEL			E-mail		
受講者名	氏名	生年月日(才)	所属・役職	勤続	備考
		. . ()			
		. . ()			